

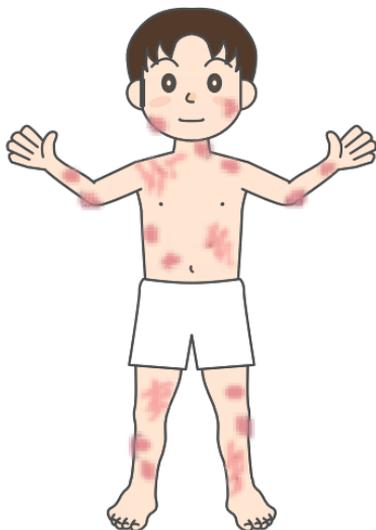
軽くこすっただけでも皮膚に水疱ができます

遺伝性の先天性表皮水疱症の疑いがあります

立川皮膚科クリニック

www.tachikawa-derma.com

先天性表皮水疱症の症状



乳幼児期から、ごく軽い刺激で体に水疱ができることがあります。この症状について「立川皮膚科クリニック」の伊東秀記院長に聞きました。

「先天性表皮水疱症」の疑いがあります。生後まもなくや幼少時に発症し、こすれたり、ぶつかったりするなどの軽微な刺激で、手足などの皮膚に容易に水疱ができ、やがて破れてただれ

ます。夏になると病状が悪化し、冬には軽くなり、重症例は昭和62年に難病指定された特定疾患です。「原因は？」

「遺伝子異常が原因で、表皮の一番下にある細胞の異常が原因で発症します。父・母いずれかの親に病歴があれば、発症する可能性があります。問診の際に伝えてください」

「ステロイド外用薬を科の受診を」

「遺伝子異常が原因で、表皮の一番下にある細胞の異常が原因で発症します。菌剤を処方します。原因が黄色ブドウ球菌による細菌感染によるものだからです。」

「正しい診断で治療を進めるためにも早めに皮膚科の受診を」

「処方します。水疱は治癒したり新しくできたりを繰り返して、思春期以降は、病状が軽くなる傾向があります。」

「間違いやすい症状に『びびり』（伝染性膿痂疹）」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2015年6月27日付 「リビング多摩」に掲載されました